

## 地 理 B

### 注 意 事 項

1 【共通問題】  から  は、必ず解答すること。

解答番号は  から  。

2 【選択問題】  から  までの3題から1題を選んで、解答する問題番号を記入及びマークした上で、解答欄に解答すること。

解答番号は  から  。

2題以上マークした場合は採点できないので注意すること。

B

# 地 理 B

( 解答番号 1 ~ 20 )

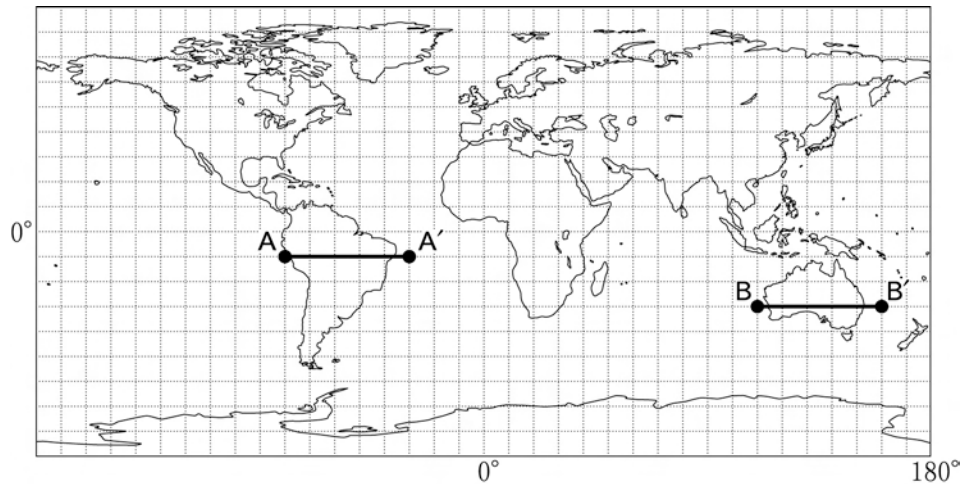
**【共通問題】**

1 地形と気候に関して、問 1～問 4 に答えよ。

問 1 太郎さんはコンピュータを利用した断面図の作図に興味をもち、大陸の断面図を作成した。次のページの先生と太郎さんの会話文中の空欄 X , Y にあてはまる数字と記号の組合せとして最も適切なものを、次のページの①～④のうちから一つ選べ。

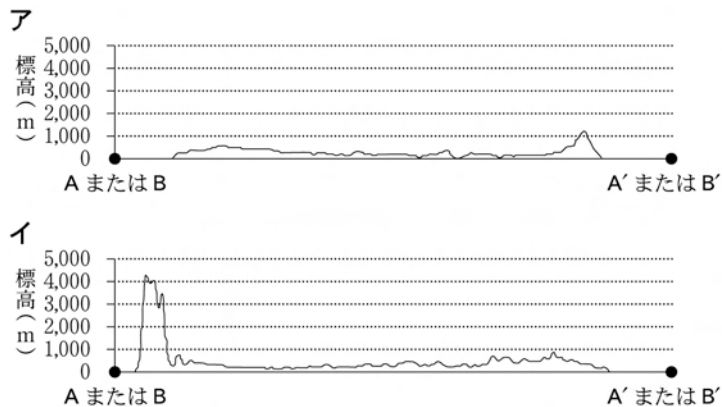
解答番号は 1 。

**資料 1**



注) 緯線と経線の間隔は、それぞれ 10 度である。

**資料 2 南アメリカ大陸とオーストラリア大陸の断面図**



注) A—A' と B—B' の実際の距離を比べると A—A' の方が長いですが、資料 2 では、A—A' の実際の距離と等しくなるように東西方向を拡大して B—B' の断面図を作成した。(NOAA の資料により作成)

太郎：世界の標高データはどこで手に入れることができるのですか。

先生：アメリカ合衆国の国立海洋大気局(National Oceanic and Atmospheric Administration, NOAA)のホームページからダウンロードすることができますよ。

太郎：その標高データはどのようなものですか。

先生：地球を緯線・経線方向にそれぞれ 30 秒(1 / 120 度)間隔に分割した地点における標高が記録されています。

太郎：なるほど。つまり、資料 1 の世界地図全体を縦方向に 21,600, 横方向に X の地点に分割したわけですね。

先生：その通りです。太郎さんは、どのような地域の断面図を作成したいのですか。

太郎：以前、学習した南アメリカ大陸(資料 1 中の太線 A—A′)とオーストラリア大陸(資料 1 中の太線 B—B′)の断面図を作成したいと思います。

先生：では、NOAA のホームページから標高データをダウンロードして、断面図を作成してみましょう。

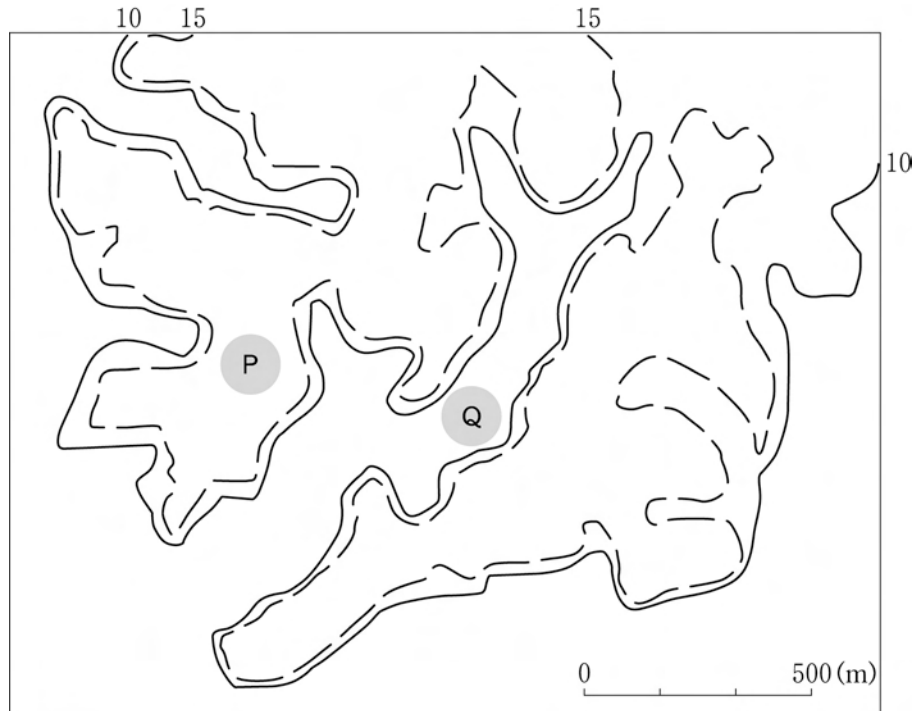
太郎：はい。

太郎：できました。オーストラリア大陸(資料 1 中の太線 B—B′)の断面図は、資料 2 中の断面図のうち、Y です。

	X	Y
①	21,600	ア
②	21,600	イ
③	43,200	ア
④	43,200	イ

問 2 太郎さんは、地形と人間生活の関係に興味をもち、資料 3 を得た。次のページの太郎さんと先生の会話文中の空欄のうち、、 にあてはまる語句の組合せとして最も適切なものを、次のページの①～④のうちから一つ選べ。解答番号は  。

資料 3 地形図から等高線のみ写し取った図



注) ・ 図中の数字は等高線の標高(m)を表す。  
 ・ 実線の等高線は 10 m 間隔の主曲線、破線の等高線は 5 m 間隔の補助曲線である。  
 (「数値地図 25000 (地図画像) 東京」により作成)

先生：資料 3 中にみられる地形は、洪積台地と沖積平野ですよ。

太郎：標高の低いところと高いところがあるんですね。

先生：その通りです。では、資料 3 中の P 付近と Q 付近の標高を比べてみましょう。

太郎：等高線から判断すると、X 付近の方が標高が高いので、X 付近は洪積台地上にあるといえそうです。

先生：そうですね。

太郎：ところで先生。一般に、標高や地形は農業的な土地利用に影響を与えているといわれているそうです。X 付近の農業的な土地利用としてはYが多いのではないかと思うのですが、いかがでしょうか。

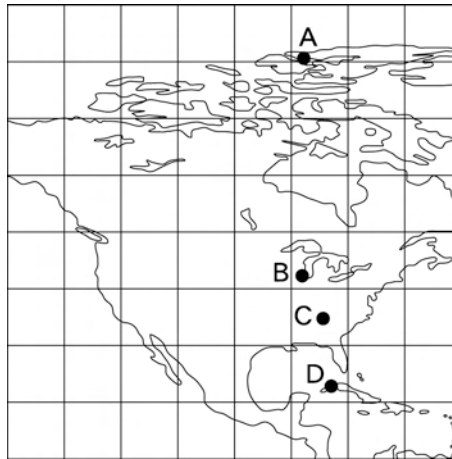
先生：そうですね。標高や地形が農業的な土地利用に影響を与えるというのは確かですが、「標高や地形が農業的な土地利用を決定する」と単純に決めつけてはいけませんよ。一度、現地を訪ねて太郎さんの予想が正しかったのか調査してみてくださいか。

太郎：はい。今度の日曜日に調査に行ってきます。

	X	Y
①	P	田
②	P	畑
③	Q	田
④	Q	畑

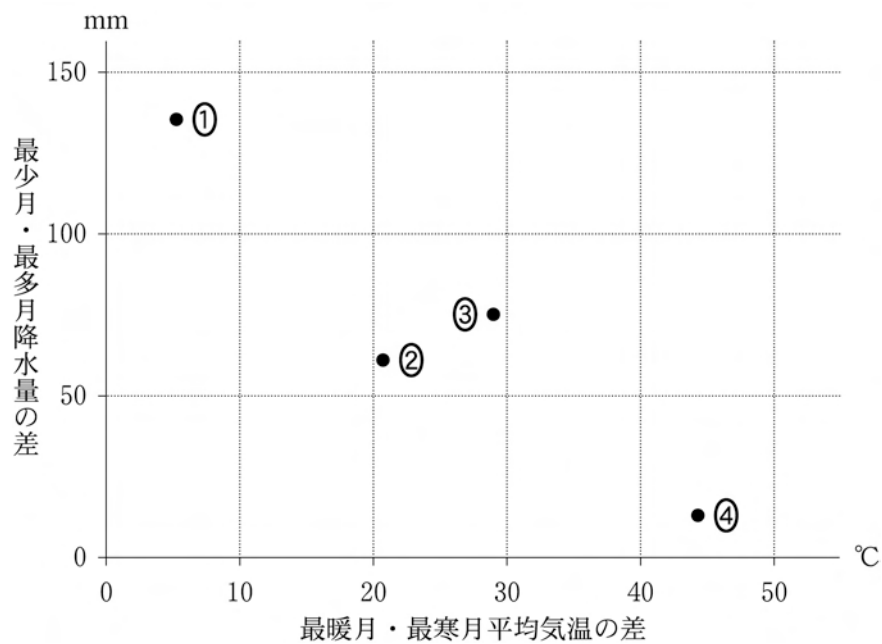
問 3 太郎さんは、資料 4 中の都市 A～D の気温と降水量の季節変化に興味をもち、資料 5 を作成した。資料 4 中の都市 D にあてはまるものとして最も適切なものを、資料 5 中の①～④のうちから一つ選べ。解答番号は 3。

資料 4 都市 A～D の位置



注) 緯線と経線の間隔は、いずれも 10° である。

資料 5 最暖月・最寒月平均気温の差と最少月・最多月降水量の差

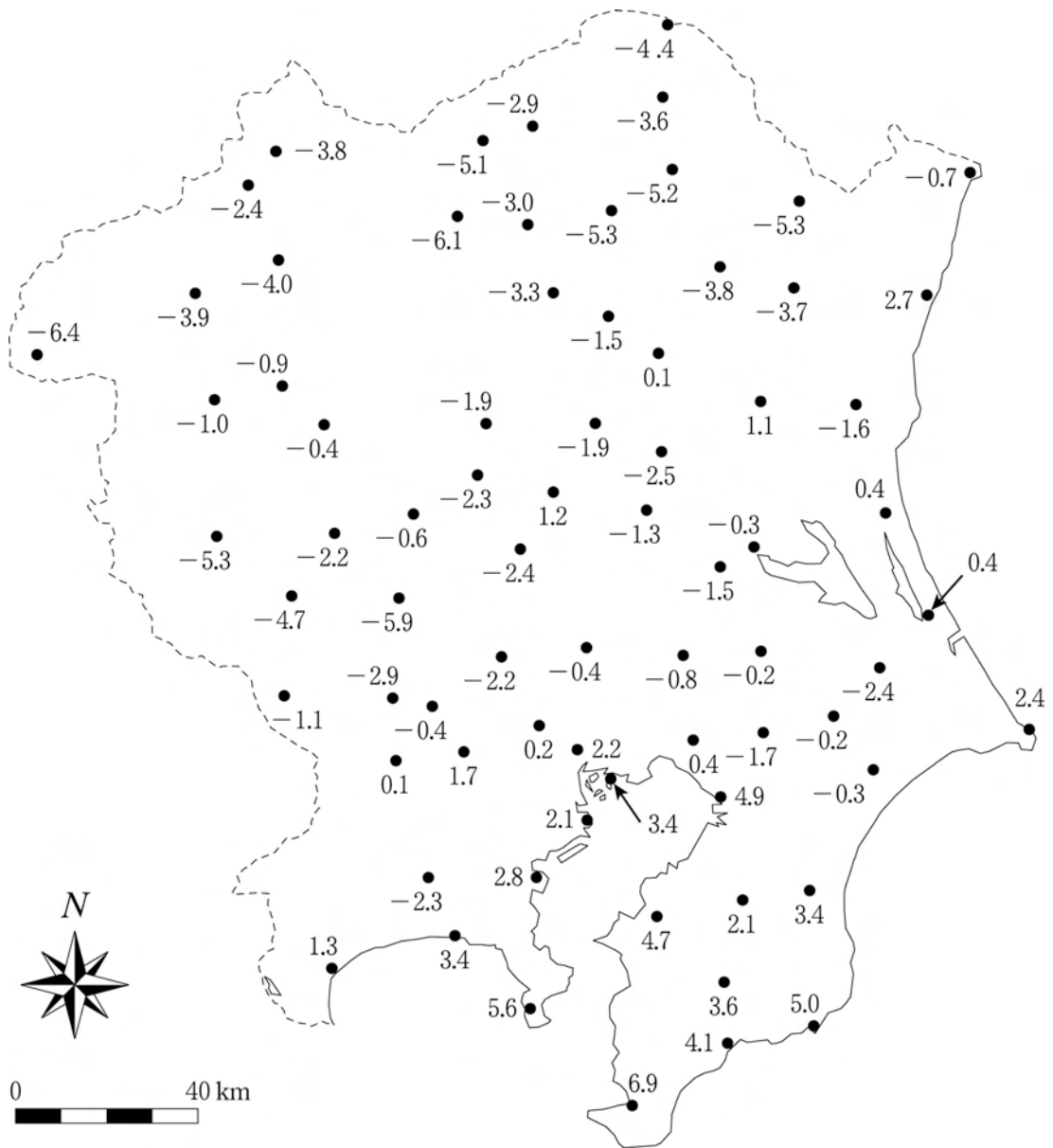


(『理科年表 平成 20 年』により作成)



問 4 次の資料 6 は、関東地方における主な観測地点について、2008 年 1 月 1 日午前 5 時の気温分布を示した地図である。太郎さんは、資料 6 から気温 0℃ の大まかな等温線図を作成した。この等温線図として最も適切なものを、次のページの①～④のうちから一つ選べ。  
 解答番号は 4。

資料 6 関東地方における 2008 年 1 月 1 日午前 5 時の気温分布(℃)



(気象庁の資料により作成)

